

第3次南北海道定住自立圏共生ビジョン

令和6年1月

第1回変更：令和7年 3月

第2回変更：令和7年10月

函 館 市

目 次

1	定住自立圏および市町の名称	1
	(1) 定住自立圏の名称	1
	(2) 圏域（北海道渡島・檜山圏域）を形成する市町の名称	1
2	定住自立圏共生ビジョンの目的	2
3	定住自立圏共生ビジョンの期間	2
4	圏域の概況	2
	(1) 当圏域の概況	2
	(2) 各市町の概況	3
	(3) 人口	9
	ア 人口の推移	
	イ 年齢3区分別人口および高齢化率の推移	
	(4) 個別分野の概況	10
	ア 医療	
	イ 福祉	
	① 障がい者福祉	
	ウ 産業振興	
	① 広域観光	
	② 地場産業	
	エ 教育	
	オ 交通ネットワーク等	
	カ 地域国際化	
	キ 人材育成等	
5	圏域の将来像	15
6	定住自立圏形成協定に基づき推進する政策分野と施策の体系	16
7	具体的取組内容と成果指標	17
	(1) 生活機能の強化	17
	ア 医療	
	① 初期救急医療体制の充実	
	② 広域救急医療体制の充実	
	③ 安定的な医療提供体制の確保	
	イ 福祉	
	① 障がい者福祉の充実	

ウ	産業振興	
①	広域観光の推進	
②	滞在型観光の促進	
③	地場産業の育成	
エ	教育	
①	文化・スポーツの振興	
(2)	結びつきやネットワークの強化	28
ア	地域公共交通	
①	圏域内における公共交通手段の維持および確保等	
イ	道路等の交通インフラの整備	
①	圏域内における交通ネットワークの形成	
ウ	地域内外の住民との交流・移住促進	
①	圏域における国際化の推進	
エ	その他	
①	消費生活相談の広域的対応	
(3)	圏域マネジメント能力の強化	33
ア	人材育成等	
①	職員等の合同研修等の実施	
8	具体的取組に関する進捗状況の確認と評価	34
9	共生ビジョン事業一覧	35
	南北海道定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿	51

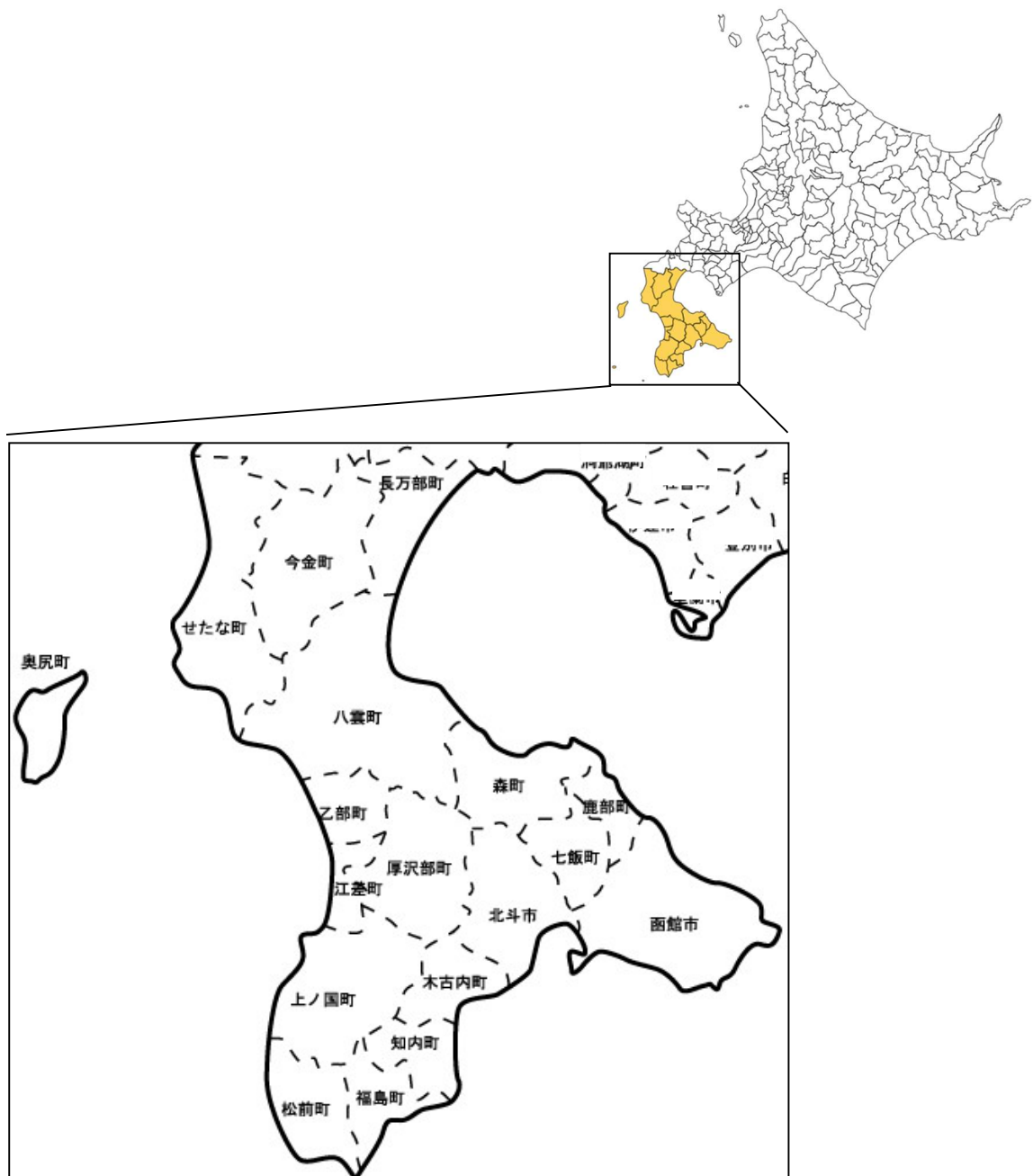
1 定住自立圏および市町の名称

(1) 定住自立圏の名称

南北海道定住自立圏

(2) 圏域（北海道渡島・檜山圏域）を形成する市町の名称

函館市（中心市）・北斗市・松前町・福島町・知内町・木古内町・七飯町・
鹿部町・森町・八雲町・長万部町・江差町・上ノ国町・厚沢部町・乙部町・
奥尻町・今金町・せたな町



2 定住自立圏共生ビジョンの目的

本共生ビジョンは、定住自立圏構想推進要綱（平成 20 年 12 月 26 日総行応第 39 号事務次官通知）第 6 の規定により、圏域の将来像や定住自立圏形成協定に基づき、関係市町が連携して推進する具体的な取組内容を明らかにするものです。

3 定住自立圏共生ビジョンの期間

令和 6 年度（2024 年度）から令和 10 年度（2028 年度）までの 5 年間とします。ただし、必要に応じて変更を行うものとします。

4 圏域の概況

（１）当圏域の概況

当圏域（渡島・檜山）は北海道の南西部に位置しており、総面積は 6,567.73 km²で、全道面積の約 8%を占めています。

2 市 16 町からなる当圏域は、風光明媚な自然と豊かな農林水産資源に恵まれ、北海道では最も早く道外から人が移り住んだ地域であり、北方開拓の歴史における大きな足跡を今に残しています。

また、経済活動や福祉、教育などの分野における、住民の通勤通学、買い物をはじめとした日常生活での結びつきはもちろんのこと、観光や医療における連携など、行政区を越えて多くの分野で相互に深い関係を築いている地域です。

総人口は令和 2 年（2020 年）の国勢調査で約 41 万人と減少傾向にあるほか、令和 7 年（2025 年）における高齢化率は 38.3%と全道の 33.4%と比較して高く、国立社会保障・人口問題研究所による将来推計人口（令和 5 年（2023 年）推計）では、令和 2 年（2020 年）国勢調査で 413,767 人だった当圏域の人口が、30 年後の令和 32 年（2050 年）には 238,638 人に減少（42.3%減）することが見込まれるなど、今後の地域コミュニティの維持が大きな課題となっています。

（２）各市町の概況

* 人口は R2 年国勢調査による

* 面積は R7 年全国都道府県市区町村別面積調（４月１日時点）による

函 館 市

人口：251,084 人 面積：677.87 km²



函館市は、津軽海峡に面した北海道の南端部に位置し、三方を海に囲まれ、函館山を要として扇状に広がる市街地を形成しています。

早くから陸・海・空の交通の要衝となり、国内外からの玄関口として、行政・経済・文化の中核都市としての役割を担ってきました。

市民が「希望を持てるまち」を目指し、市民一人ひとりに温かく寄り添い「市民の幸福度」を上げていくための施策に取り組んでいます。

北 斗 市

人口：44,302 人 面積：397.44 km²



北斗市は、平成 18 年（2006 年）2 月、肥沃な大地と温暖な気候に恵まれ、漁業、農業、商工業を中心として発展してきた旧上磯町と旧大野町が合併し、道内 35 番目の市として誕生しました。渡島管内中部に位置し、南東部は大野平野、西部は渡島山地、南部は函館湾に面しています。

テクノポリス函館の一員として、積極的な企業誘致を推進し、一次産業と商工業のバランスがとれたまちを目指して発展してきました。

現在は、北海道新幹線新函館北斗駅のまちとして、北海道の玄関口、道南の交通拠点として開業効果が広く道南全域に及ぶよう様々なまちづくりを推進しています。

松 前 町

人口：6,260 人 面積：293.25 km²



松前町は、渡島半島西南端に位置し、西は日本海、南は津軽海峡に面し狭隘な海岸線に沿って国道 228 号が走り、これを中心に集落が形成されています。

春には、松前公園一帯に、早咲きから遅咲きまで約 1 か月間、250 種、1 万本の桜が咲き誇り、観光客の目を和ませてくれます。

江戸時代の名残を伝えるお城と街並み、松前沖で獲れる極上の本マグロと海産物など、現在は、豊かな食と歴史文化など松前の魅力アップを目指し、郷土愛と誇りの持てる住みよい協働のまちづくりを推進しています。

福 島 町人口：3,794 人 面積：187.25 km²

福島町は、津軽海峡に面した北海道の南端に位置し、秀峰大千軒岳や変化に富んだ道南の知床と呼ばれる秘境の海岸線など、豊かな自然に恵まれています。

基幹産業は水産業で、昆布養殖等資源管理型漁業の推進によって、安定生産の拡大と付加価値向上を進めています。

現在は、地域の宝である子どもの子育てを地域全体で支援するための各種施策のほか、農林水産業の担い手支援事業など、「住んでいて良かった」、「これからも住み続けたい」、「住んでみたい」と思えるまちづくりを推進しています。

知 内 町人口：4,167 人 面積：196.76 km²

知内町は、青函トンネル北海道側出入口のまちです。甘さ・やわらかさで人気を博している「知内ニラ」は年間販売額 15 億円を超える北海道を代表するブランドです。

また、津軽海峡の荒波にもまれて育つ「知内かき」は大きくて身が締まっているのが特徴。厳冬期に共に旬を迎える特産品を使った食のイベント「味な合戦冬の陣（カキ VS ニラまつり）」には、遠く札幌市からも大勢の来訪者をお迎えしています。

他にハウレン草、トマト、マコガレイ、ホタテなど安全・安心でおいしい特産品づくりも自慢です。

さらに、町の 8 割を森林が占めこれまで利用が進まなかった未利用材等の地域資源を有効に活用して役場庁舎や温水プールの熱源として利用する「木質バイオマスエネルギー」活用の取組をはじめ、「地材地消」のまちづくりを推進しています。

木 古 内 町人口：3,832 人 面積：221.86 km²

木古内町は、北海道の南西部に位置し、道南杉に覆われた森を背景に、津軽海峡に面した自然豊かなまちです。昔から交通の要衝として栄えており、函館市・松前町・江差町へ向かう分岐点となっています。また、平成 28 年（2016 年）3 月の北海道新幹線開業時には北海道最初の駅が設置されました。

現在は、北海道新幹線木古内駅開業を契機とした道南地域経済の活性化など、将来を見据え様々な施策を展開しながら、「道南を未来へつなぐハブタウン木古内」を目指したまちづくりを推進しています。

七 飯 町

人口：27,686 人 面積：216.75 km²



七飯町は、渡島半島南部に位置し、函館市の北側に隣接しています。

函館港の開港に併せ、明治時代には国の農業試験場である勸業試験場なども建設された北海道開拓の基礎となる西洋農法発祥の地であり、西洋りんごや男爵いもが日本で初めて栽培されました。

また、日本新三景の一つである大沼国定公園が平成 24 年（2012 年）7 月にラムサール条約登録湿地となるなど、豊かな自然に恵まれ四季折々姿を変化させる壮大な景色は来る人を楽しませます。

現在は、北海道新幹線総合車両基地のまちとして、魅力的で活気が溢れるまちづくりを推進しています。

鹿 部 町

人口：3,760 人 面積：110.63 km²



鹿部町は、渡島半島の東部にあり、駒ヶ岳山麓の一角に位置し、北東に太平洋内浦湾を望み、南東は函館市に、北西は森町に、南西は七飯町と接しています。

町内には、温泉も多く 30 か所以上の泉源があり、全国でも珍しい間歇泉のある町です。

現在は、「きらめく海・駒ヶ岳 うるおいの湯郷」をめざすまちの姿に掲げ、「生きる力を育み、だれもが学べるまち」、「ともに支えあい、健やかに安心して暮らせるまち」、「安心して住み続けられるまち」、「自然と安全を守り続けるまち」、「地域の魅力を活力にかえるまち」、「みんなで知恵と力を出し合い挑戦するまち」を基本目標としてまちづくりを推進しています。

森 町

人口：14,338 人 面積：368.79 km²



森町は、渡島半島南東部に位置し、北は噴火湾に臨み、東に北海道駒ヶ岳がそびえています。

昭和 4 年（1929 年）の駒ヶ岳大噴火、昭和 36 年（1961 年）の森町大火などの災害から力強く復興をとげ、駒ヶ岳山麓開発、濁川地熱開発、ホタテ養殖、港湾、漁港、道の駅や北海道縦貫自動車道開通、教育や福祉の充実などの取組を進め、平成 17 年（2005 年）4 月 1 日に旧森町と旧砂原町が合併し、

新「森町」となりました。

現在は、自然エネルギーの活用や災害に強い「まち」・地場資源を活用した「まち」など、全ての町民が、安心して暮らせることができるまちづくりを推進しています。

八 雲 町

人口：15,826 人 面積：956.08 km²



八雲町は、渡島半島のほぼ中央部に位置しています。東は太平洋，西は日本海に面しており，日本の市町村としては唯一，2つの海に面する町です。札幌市と函館市を結ぶ主要幹線上に位置し，北海道新幹線の新八雲（仮称）駅の設置が予定されています。農業は酪農を中心に水田・畑作，漁業は噴火湾ではホタテの養殖，日本海ではサーモンの養殖が中心となっています。

近年は，酪農研修牧場やメガファームなどの導入，北海道二世サーモンの海面養殖事業やブランド化など，地域の活性化にも力を入れています。

長 万 部 町

人口：5,109 人 面積：310.76 km²



長万部町は，渡島半島内浦湾の最奥部に位置し，平地は湾に沿って南北に帯状に分布し，長万部川，紋別川，国縫川流域に平坦で肥よくな農耕地を有しています。また，北海道内では比較的雪の少ない温暖な気候です。

古くから北海道の南北を結ぶ主要経路地であり，江戸期のアイヌ社会，松前藩双方にとって地政学的に極めて重要な地であったことから，寛文9年（1669年），シャクシャインの戦いの主戦場となりました。現在では，道央と道南を結ぶ交通の要衝として重要な地点に位置しています。

将来，北海道新幹線長万部駅の開業が予定され，これからも道南北部の交通の要衝である本町は，内浦湾沿岸の中間地点，北海道行政圏境地域として，21世紀の交通拠点都市を目指しています。

江 差 町

人口：7,428 人 面積：109.48 km²



江差町は，北海道の南西部に位置し，北海道文化発祥の地といわれ，北前船交易によりもたらされた江差追分などの伝統芸能や生活文化が数多く伝承されています。

江戸期のニシン漁最盛期で栄えた町「江差」の街並みを再現した「いにしえ街道」や，当時の問屋建築のまま残されている「旧中村家」，江差追分の実演が見学できる「江差追分会館」や町のシンボルである「かもめ島」など観光施設や町歩きにも魅力のある町です。平成29年（2017年）4月には，「江差の五月は江戸にもないーニシンの繁栄が息づく町ー」として北海道で初の『日本遺産』に認定されています。

現在は，住民一人ひとりが主役となる「自分たちごとのまちづくり」を通して，「誇りある暮らしを未来へ紡いでいく」ことを目指し，まちづくりを推進しています。

上ノ国町

人口：4,306人 面積：547.72 km²



上ノ国町は、檜山振興局管内の最南端に位置し、北部を流れる天ノ川流域に市街地と農業集落、日本海沿岸に漁業集落を形成しています。

古くは日本海北方交易の拠点として繁栄したことから、北海道最古の寺院・民家など多数の歴史的遺産を有しています。

現在は、『みんなで創る 誇れるふるさと上ノ国』を基本テーマとし、住民と行政が一体となって、「誰もが活躍できる活力あるまちづくり」、「元気とあたたかさに満ちたまちづくり」、「協働による持続可能なまちづくり」を推進しています。

厚沢部町

人口：3,592人 面積：460.58 km²



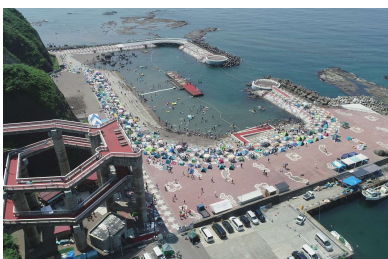
厚沢部町は、渡島半島の日本海側、檜山管内に位置し、三方を森林に囲まれ、清流厚沢部川をはじめとする河川流域に水田、丘陵地帯に畑地が拓けた農林業を基幹産業とする町です。

メークイン発祥の地として古くから農業の営みが続けられてきた厚沢部町では、安全で良質な農産物づくりに取り組んでいます。

現在は、移住交流事業などに積極的に取組ながら、安全で安心して暮らせる「素敵な過疎のまち」を目指したまちづくりを推進しています。

乙部町

人口：3,403人 面積：162.59 km²



乙部町は、北海道南西部の日本海に面した町で、美しい海岸線と岬に沿って集落が続く農漁業が中心の町です。

バリアフリー化し、どなたでも安心・安全に利用できる「海のプール」や、縁結びの神が宿と言われる連理の木「縁桂」、雄大な姿を見せる「シラフラ」「館の岬」「鮪の岬」などが観光の柱。

また、歴史的には箱館戦争時の新政府軍（官軍）上陸の地として知られています。

現在は、産業振興や福祉の充実、防災対策など各般にわたり取り組むなど、持続的な発展と町民のくらしを守る、安全・安心なまちづくりを推進しています。

奥 尻 町人口：2,410 人 面積：142.99 km²

奥尻町は、北海道南西部の日本海上に浮かぶ島で、北海道では2番目に面積の広い島です。島の面積の約7割がブナをはじめとする森林で覆われ、離島では珍しい米作りをはじめ、アスパラ、奥尻和牛、奥尻ワイン等の山の幸、そして豊富な海の幸など島ブランドが溢れています。

現在は、おくしりまるごと祭りなど各種行事や島ブランドを生かした観光客の誘致やPRに取り組ながら、島ならではのゆったりとした時間の流れである「島じかん」を通じ、暮らす人も、訪れる人も笑顔あふれるまちづくりを推進しています。

今 金 町人口：5,072 人 面積：568.25 km²

れています。

今金町は、北海道南西部の檜山管内北部にある町で、総面積の約8割を山林が占めており、清流日本一の一級河川「後志利別川」が流れている、人口約5,100人の自然豊かなまちです。明治30年（1897年）に瀬棚村（現：せたな町）から分村して「利別村」として自治制を施行して以来、道南圏随一の「農業のまち」として発展し、品質の高い農産物、特に全国ブランド「今金男しゃく」の産地として知ら

現在は、子育て支援、福祉の充実などに積極的に取り組みながら、「安全・安心な暮らしが保障され、輝く地域人・力強い地域産業を育てるまち・今金」を目指し、まちづくりを推進しています。

せ た な 町人口：7,398 人 面積：638.68 km²

せたな町は、平成17年（2005年）9月1日に旧大成町・瀬棚町・北檜山町が合併して誕生したまちです。農業・畜産業・水産業が盛んで、まちの中心部には清流日本一の一級河川後志利別川が流れています。

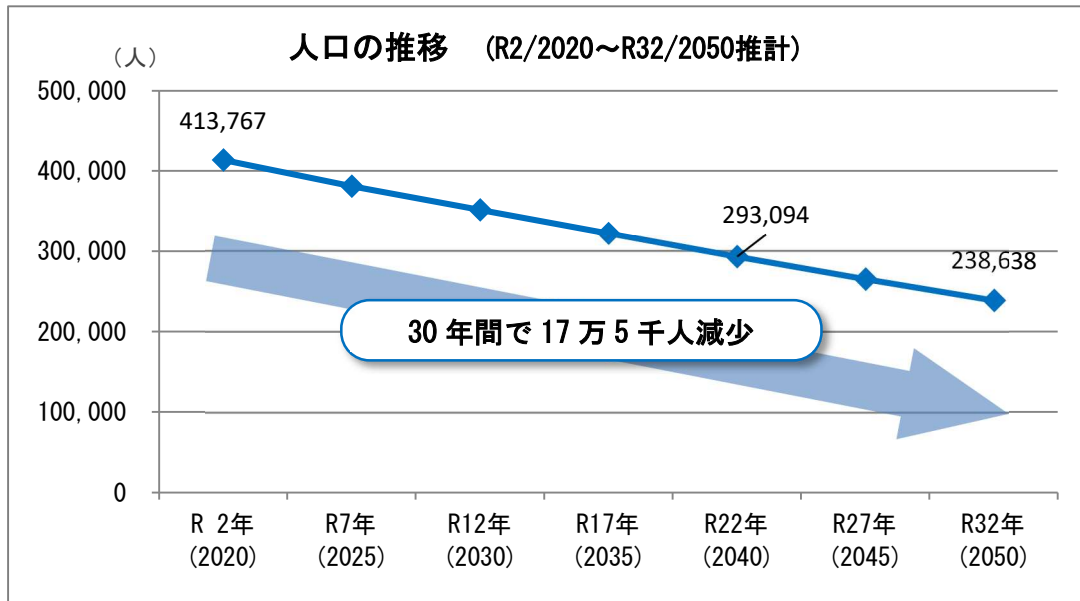
豊かで美しい自然と山海の幸、自然と笑顔があふれるふれあいの理想郷。色とりどりの四季、純朴な人々、穏やかに刻む時間。都会の喧騒から開放され癒される時間を過ごすことができます。

現在は、将来に向かっての更なる飛躍と一層の一体感の醸成を目指し、町民からの提案を広く取り入れた協働によるまちづくりを推進しています。

(3) 人口

ア 人口の推移

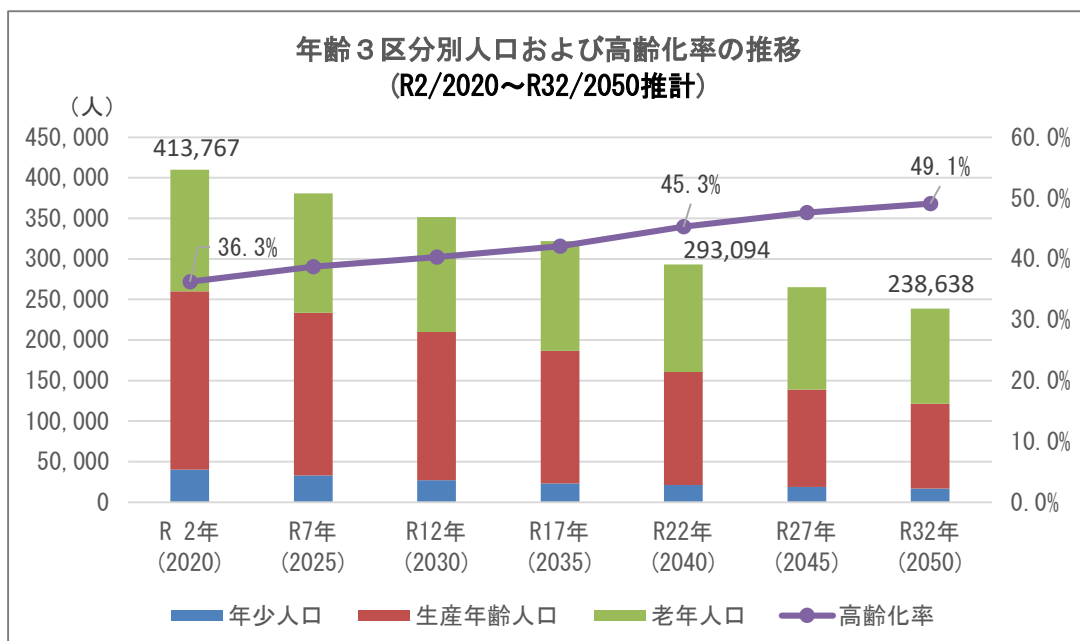
当圏域の人口は、減少傾向にあり、平成 27 年（2015 年）と令和 2 年（2020 年）の国勢調査結果での比較において、28,901 人減少（6.5%減）しています。また、国立社会保障・人口問題研究所が発表した「日本の地域別将来推計人口（令和 5 年推計）」によれば、令和 2 年（2020 年）に 413,767 人だった当圏域の人口が、30 年後の 令和 32 年（2050 年）には 238,638 人に減少（42.3%減）することが見込まれるなど、人口減少による地域コミュニティの維持や地域経済の衰退が大きな課題となっています。



資料：国勢調査(2020)，国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計」(2023)

イ 年齢3区分別人口および高齢化率の推移

人口が減少を続ける中において、老年人口の増加と生産年齢人口の大幅な減少が見込まれており、交流人口の拡大など、地域経済を維持させるための取組が急務となっています。



資料：国勢調査(2020)，国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計」(2023)

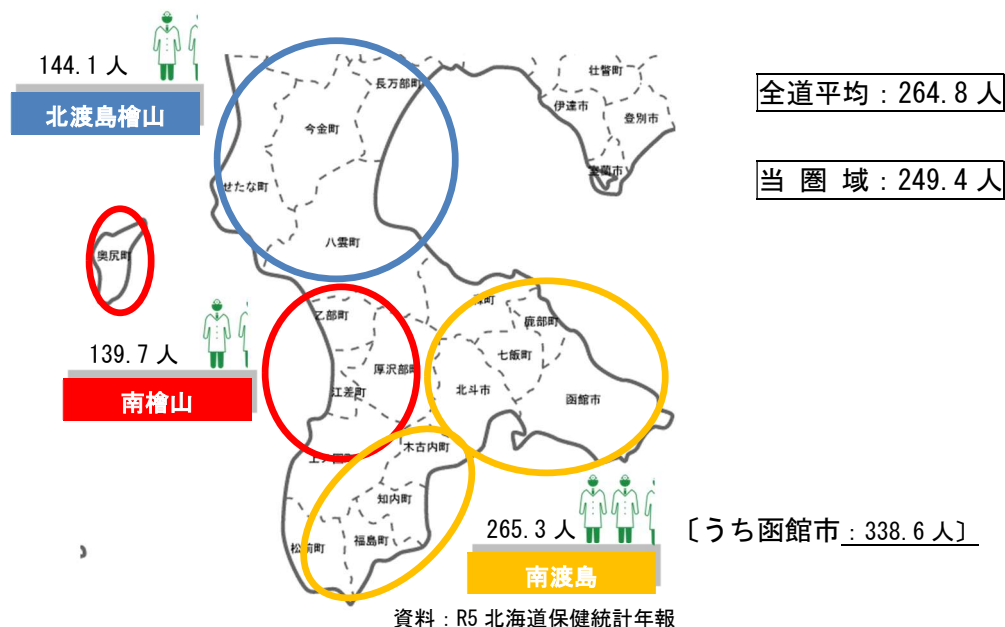
(4) 個別分野の概況

ア 医療

当圏域における人口 10 万人あたりの医師数は 249.4 人で、全道平均 264.8 人を下回っており、第二次医療圏別に見ると南渡島では 265.3 人と全道平均を若干上回っているのに対し、南檜山、北渡島檜山ではそれぞれ 139.7 人、144.1 人と大幅に下回っており、地域間の医療環境に大きな格差が生じています。

中心市にある市立函館病院は、南渡島、南檜山、北渡島檜山を合わせた三次医療圏（道南）の中核医療機関として、三次救急医療機関（救命救急センター）、ドクターヘリの基地病院、地域がん診療連携拠点病院、脳卒中の急性期医療を担う医療機関など様々な役割を担っているほか、三次医療圏内の他の自治体病院への医師派遣を行い、医療関係者同士のネットワーク形成に努めています。

＜第二次医療圏別医師数＞



イ 福祉

① 障がい者福祉

「地域生活を希望するすべての障がい者が安心して地域で暮らせる社会づくり」を進めるためには、相談支援を中心とする地域の実情に応じた地域生活支援体制の充実が必要です。

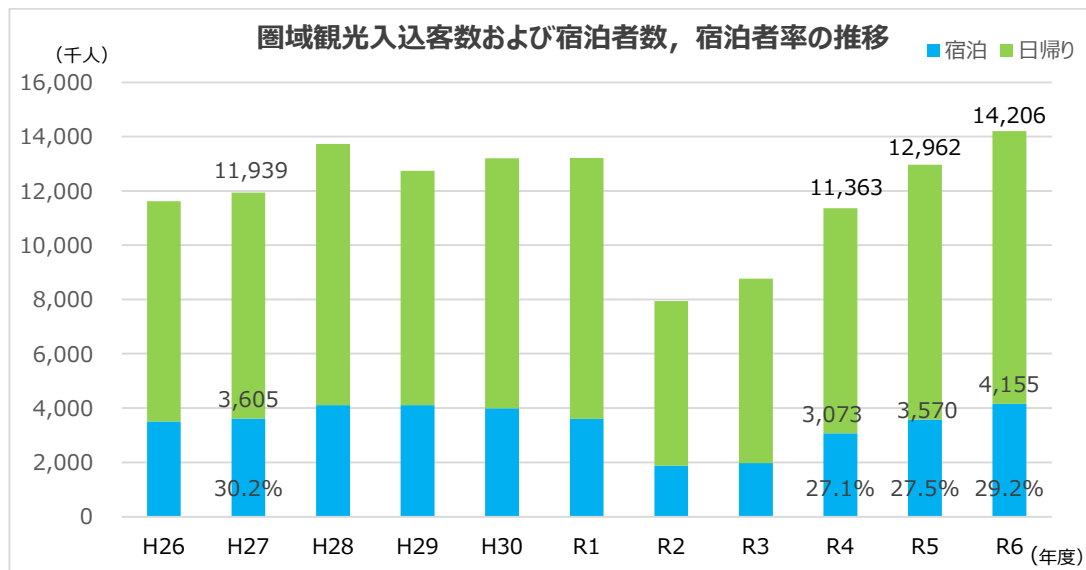
また、障がいのある人が自らの選択と決定により、自主的に行動し、その行動に責任を負うとともに、社会を構成する一員として社会、経済、文化その他のあらゆる分野の活動に参加し、生きがいを持って生活できるような地域づくりが必要です。

ウ 産業振興

① 広域観光

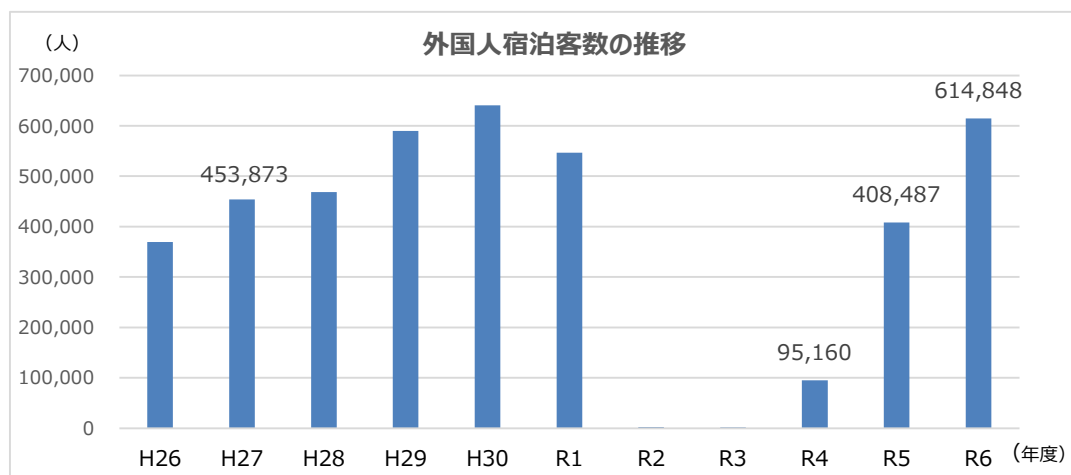
当圏域の観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による旅行需要の減少により大きく落ち込みましたが、令和 5 年度(2023 年度)にはほぼ回復し、令和 6 年度(2024 年度)は、1,421 万人となり、同年度の宿泊客延数についても、534 万人泊となっています。

今後は、北海道新幹線の札幌延伸を見据え令和 15 年度(2033 年度)の圏域全体の宿泊客延数 1,000 万人泊達成を目指し、広域観光・滞在型観光に関する取組に努めてまいります。



資料：北海道経済部 北海道観光入込客数調査報告書（2024）

また、外国人観光客については、国の入国拒否措置等の影響から、令和 2 年度（2020 年度）・令和 3 年度（2021 年度）ともに令和元年度（2019 年度）比で 99%以上の減となりましたが、令和 4 年度（2022 年度）には国際的な人の往来が再開、令和 6 年度（2024 年度）には 61 万 5 千人となりコロナ禍以前と同程度の水準まで回復しています。今後は、リピーター向け観光資源の創出をはじめ外国人観光客の満足度を向上させるための体制整備を進めていく必要があります。



資料：北海道経済部 北海道観光入込客数調査報告書（2024）

② 地場産業

北海道人口ビジョン（改訂版）によると、令和 6 年（2024 年）における転出入状況では、当圏域は転出超過（2,184 人減）となっており、進学・就職等による札幌圏や首都圏への転出が主な要因と考えられています。

圏域内に人が定着するためには、地域経済の活性化を図り、安定的な所得が得られる就業の場を確保することが必要です。基盤となる産業の強化と雇用の拡大・創出を図るため、地域の資源を活かし、観光関連産業の振興や物産の販路拡大、起業化支援などの推進が求められています。

エ 教育

当圏域では、圏域内の施設を活用し文化・スポーツに関する大会やイベントが開催されています。

圏域内の定住を維持していくためには、こうした文化・スポーツなどに対する住民のニーズにも対応していく必要があることから、住民に対し、これらの情報を広く発信していくほか、住民の利便性の向上を図るため文化・スポーツ施設の相互利用についても進めていく必要があります。

オ 交通ネットワーク等

当圏域においては、平成 28 年（2016 年）3 月の北海道新幹線の開業によって、高速交通ネットワークの強化が図られましたが、将来、予定されている北海道新幹線の札幌延伸を見据え、圏域内相互での移動を容易にするための二次交通の整備等が必要です。

また、交通ネットワークを移動手段としてのみ捉えるのではなく、将来的には、医療や福祉分野との連携など、これまでの枠にとらわれない取組についても検討していくことが求められます。

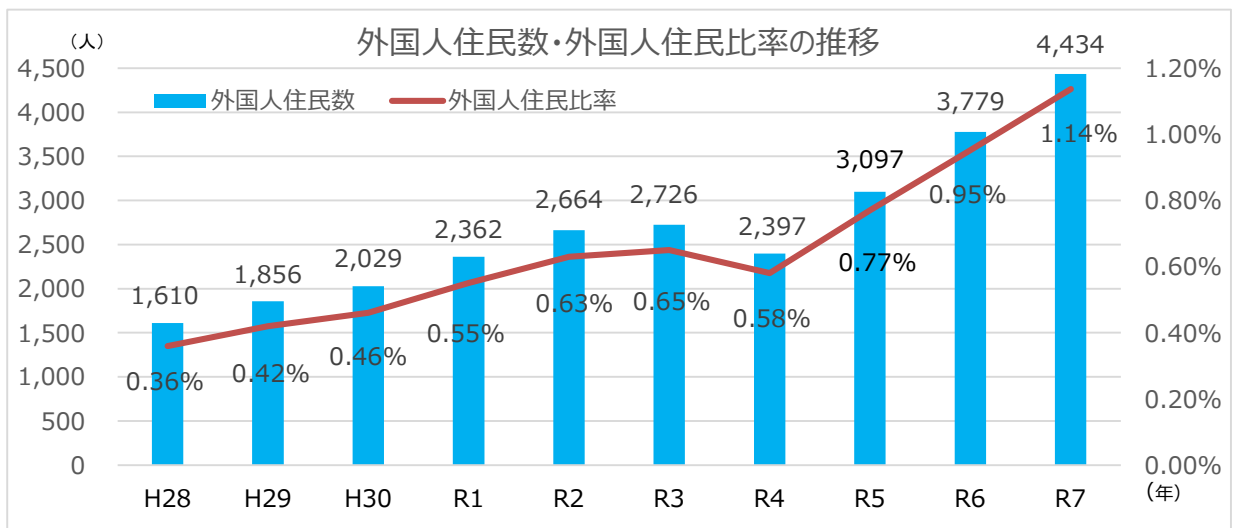
〔域内高速交通ネットワーク図〕



カ 地域国際化

コロナ禍で減少した外国人観光客の増加が想定されるため、さらに受入環境を整備していく必要があります。

ハード面での環境整備はもちろんのこと、外国人観光客や留学生・外国人労働者など在住外国人が快適に過ごすことのできるよう、日本語教育の充実や多文化共生の強化など環境を整え、さらなる交流人口の増加を図ることが必要と考えられます。



資料：北海道地域行政局 住民基本台帳人口・世帯数（1月1日現在）

キ 人材育成等

昨今の人口減少や高齢化など、社会・経済情勢の変化や住民ニーズの多様化に伴い、行政が担う役割は高度化・複雑化してきています。こうした中、地域資源を活用し、圏域のさらなる発展を図るため、自治体職員の企画・立案能力の向上や圏域内職員等の交流を深めることが重要となってきたことから、圏域内での職員研修情報の共有や、合同研修の実施など、リソースを効率的に活用することにより、圏域全体のマネジメント能力を向上させることが求められています。

◇

5 圏域の将来像

◆当圏域が目指す将来像

安心と交流でつながる南北海道

当圏域を取り巻く情勢は、我が国の平均を上回る人口減少率や、急速な高齢化、生産年齢人口の減少、さらにはこれらに伴う経済活動の停滞化など大変厳しい状況に置かれています。このような状況を打開し、中心市と連携市町がそれぞれの持つ個性を尊重しながら各種の連携を進め、以下の視点を持ちながらまちづくりを進めていく必要があります。

◆持続可能な圏域を形成するための3つの視点

医療・福祉体制の充実による「安全・安心」な定住環境の整備

- ・ドクターヘリ，初期・二次救急，医療情報共有，安定的な医療提供体制の確保，障がい者福祉の充実 など

交通ネットワークの整備による域内移動容易性の確保

- ・高規格道路等整備促進，第三セクター鉄道運行支援，生活バス路線の維持・確保 など

北海道新幹線開業・延伸による交流人口の拡大

- ・広域観光の推進，圏域における国際化の推進 など

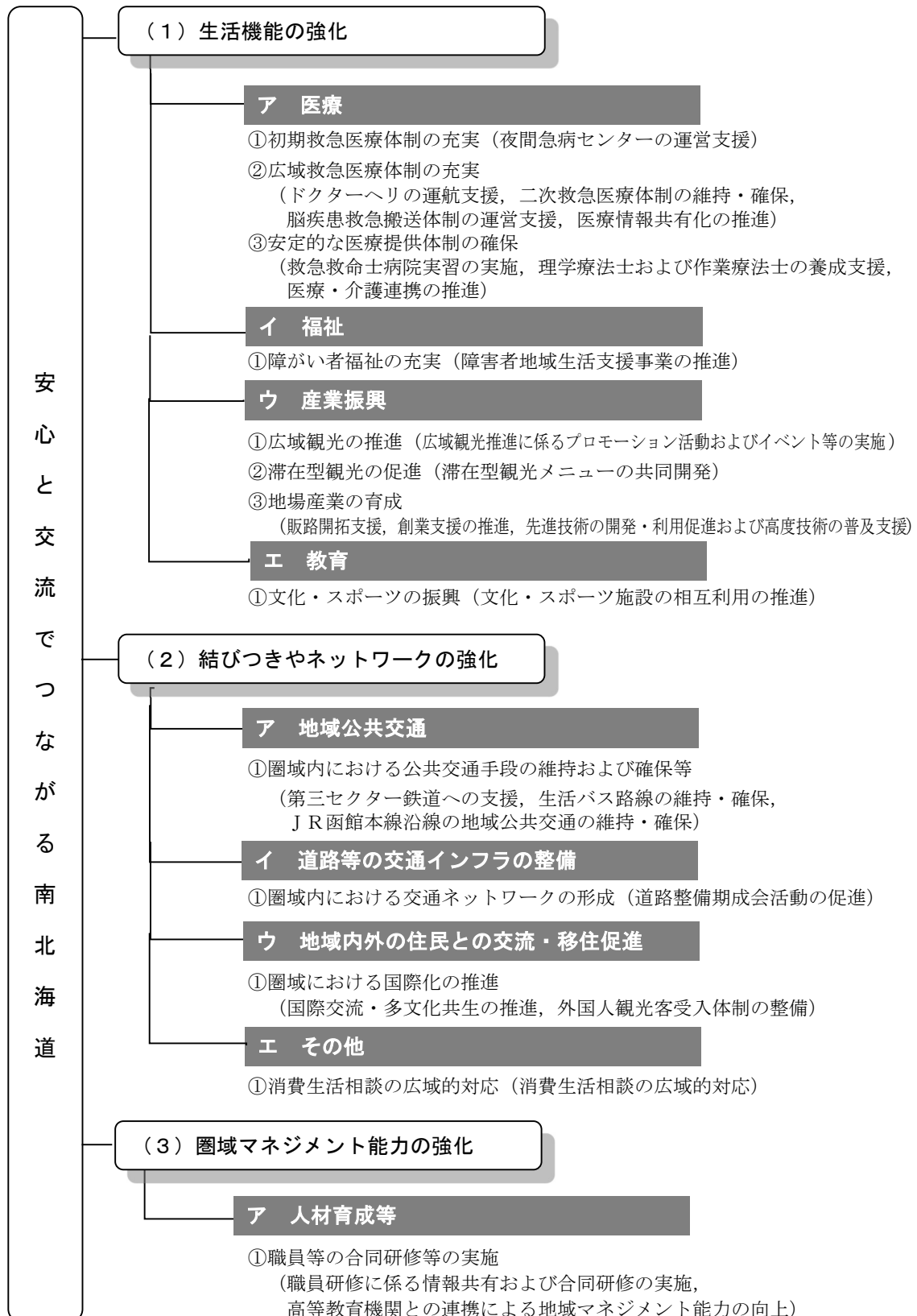
これらの3つの視点に重きを置いた施策を継続的に展開しながら，上記将来像に掲げる圏域の形成を目指します。

将来像に基づく各種施策に取り組み，圏域内の将来人口の目標を以下のとおり設定します。

◆当圏域の人口ビジョン

区分	圏域内人口（人）	高齢化率（％）
平成22年（2010年）（国勢調査）	469,865	28.1
平成27年（2015年）（国勢調査）	442,668	32.8
令和2年（2020年）（国勢調査）	413,767	36.3
令和22年（2040年）（目標）	320,000	40.0

6 定住自立圏形成協定に基づき推進する政策分野と施策の体系



7 具体的取組内容と成果指標

(1) 生活機能の強化

ア 医療

基本目標	圏域内の救急医療を安定的に提供する体制を整えます。				
数値目標	ドクターヘリの圏域内カバー率	基準値	R 5(2023)年：100%		
		現状値	R 7(2025)年：100%		
		目標値	R10(2028)年：100%		

① 初期救急医療体制の充実

【形成協定】

圏域内における初期救急医療体制を充実させるため、函館市夜間急病センター運営をはじめとした各種事業に取り組む。

事業名	夜間急病センターの運営支援					関係市町
事業概要	関係市町が連携し、函館市夜間急病センターに対する運営支援を行う。					北斗市 七飯町
効 果	夜間の初期軽症患者に対する医療体制を整えることにより、函館・北斗市民および七飯町民に対して、年間を通じた救急医療の提供が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	66,760	101,535	101,535	101,535	101,535	472,900
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	函館市、北斗市および七飯町が経費の一部を負担し、運営の支援を行う。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準 R4(2022)年度	現状値 R6(2024)年度	目標値 R10(2028)年度		
	函館市夜間急病センター 開設日数	3 6 5 日	3 6 5 日	3 6 5 日		

② 広域救急医療体制の充実

【形成協定】 圏域内における広域救急医療体制の充実を図るため、市立函館病院におけるドクターヘリの運航支援をはじめとした各種事業に取り組む。

事業名	ドクターヘリの運航支援					関係市町
事業概要	圏域全体を対象としたドクターヘリの運航支援を行うほか、必要な施設整備を行う。					全市町
効果	ドクターヘリの運航により、救命率が大幅に向上し、圏域全体の広域救急医療体制の充実が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	62,640	63,217	63,281	63,281	63,281	315,700
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	ドクターヘリに係る設備投資負担は函館市が行い、運航に係る経費は全市町で負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R5(2023)年度		現状値 R7(2025)年度		目標値 R10(2028)年度
	事前選定冬期間使用可能ランデブーポイントの箇所数	53箇所		54箇所		基準値より多い

事業名	二次救急医療体制の維持・確保					関係市町
事業概要	関係市町が連携し、圏域で行われる病院群輪番制に参加する医療機関に対する運営支援を行う。					北斗市 七飯町
効果	二次救急医療体制が維持・確保されることで、休日または夜間における入院治療を必要とする救急患者への医療の提供が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	48,166	48,531	48,531	48,531	48,531	242,290
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	函館市、北斗市および七飯町が経費の一部を負担し、運営の支援を行う。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R4(2022)年度		現状値 R7(2025)年度		目標値 R10(2028)年度
	診療日数・診療科数	365日・4科		365日・4科		365日・4科

事業名	脳疾患救急搬送体制の運営支援					関係市町
事業概要	脳疾患救急患者の中心市基幹病院への搬送体制の支援を行う。					江差町 上ノ国町 厚沢部町 乙部町
効果	中心市の基幹病院と連携した医療施設を維持することにより、圏域の救急医療体制の向上に寄与する。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	100,000
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	各市町において、医療機関維持に必要な費用を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R4(2022)年度		現状値 R6(2024)年度		目標値 R10(2028)年度
	中心市の受入医療機関の診療日数	365日		365日		365日

事業名	医療情報共有化の推進					関係市町
事業概要	連携市町の医療機関（町立病院等）に情報共有のための設備（サーバー等）を設置し、中心市の基幹病院との間における医療情報の共有を推進する。					江差町 上ノ国町 厚沢部町 乙部町 奥尻町
効果	中心市と連携市町の医療機関が患者の医療情報を共有化することにより、個々のケースに即応した治療が可能となり、圏域全体の医療体制の充実が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	12,560	16,002	16,002	16,002	86,002	146,568
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	医療情報共有化を行う市町において必要な費用を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R4(2022)年度		現状値 R6(2024)年度		目標値 R10(2028)年度
	利用医療機関数	4病院, 5診療所		4病院, 5診療所		4病院, 5診療所

③ 安定的な医療提供体制の確保

【形成協定】 圏域内における安定的な医療提供体制を確保するため、救急救命士病院実習の実施をはじめとした各種事業に取り組む。

事業名	救急救命士病院実習の実施					関係市町
事業概要	圏域内の中核病院等において、救急救命士病院実習を実施することにより、救急救命士の技術・能力の維持・向上を図る。					全市町
効果	救急救命士の技術・能力の維持・向上により、圏域の救急医療体制の充実が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	15,264	19,394	17,234	17,210	17,216	86,318
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	事業に参加する市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R5(2023)年度		現状値 R7(2025)年度		目標値 R10(2028)年度
	圏域内の救急救命士の有資格者数	316人		335人		基準値より多い

事業名	理学療法士および作業療法士の養成支援					関係市町
事業概要	函館市医師会看護・リハビリテーション学院への運営支援を行うほか、奨学金による学生への支援により、圏域内における理学療法士および作業療法士の養成・確保を図る。					全市町
効果	理学療法士および作業療法士の養成と確保により、圏域の医療体制の充実が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	15,320	15,440	15,440	15,440	15,440	77,080
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	函館市医師会看護・リハビリテーション学院の運営補助は函館市が行い、事業に参加する市町が奨学金に係る経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R4(2022)年度		現状値 R6(2024)年度		目標値 R10(2028)年度
	卒業生の圏域内における理学療法士・作業療法士としての就職率	理学療法士51.4% 作業療法士67.6%		理学療法士64.7% 作業療法士69.4%		基準値より多い

事業名	医療・介護連携の推進					関係市町
事業概要	医療・介護関係者が円滑に連携するための支援や、多様な職種間の相互理解を深めるための研修等を行う医療・介護連携支援センターを運営し、切れ目のない医療・介護の提供体制の構築を推進する。					北斗市 七飯町
効果	介護保険法施行規則に定める医療・介護連携に係る各種事業を効率的に実施することが可能となり、圏域の医療・介護の提供体制の充実が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	37,725	37,953	37,953	37,953	37,953	189,537
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	各市町がそれぞれ費用を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R5(2023)年度		現状値 R6(2024)年度		目標値 R10(2028)年度
	医療・介護関係者向け研修の開催回数	6回(当初)		17回(実績)		基準値より多い

イ 福祉

基本目標 圏域内の障がい者（児）の自立と社会参加を促進します。

① 障がい者福祉の充実

【形成協定】

圏域内における，障がい者（児）の自立と社会参加を促進するため，地域生活支援事業をはじめとした各種事業に取り組む。

事業名	障害者地域生活支援事業の推進					関係市町
事業概要	障害者総合支援法に基づき障がい者の自立と社会参加を促進するため，基幹相談支援センター事業，手話・要約筆記者等派遣事業，地域活動支援センター事業など各種相談・支援事業を社会福祉法人やNPO法人等に委託し実施する。					北斗市 七飯町
効果	地域における相談支援体制をはじめ，障がい福祉サービスの充実が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	113,210	120,360	120,360	120,360	120,360	594,650
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	函館市，北斗市および七飯町が経費の一部を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R4(2022)年度		現状値 R6(2024)年度		目標値 R10(2028)年度
	基幹相談支援センターにおける相談支援人数	1, 274人		392人		基準値より多い

ウ 産業振興

基本目標	圏域の産業振興のため、宿泊客延数の増加を目指します。				
数値目標	圏域内の宿泊客延数	基準値	R 5(2023)年度：451 万人泊		
		現状値	R 6(2024)年度：534 万人泊		
		目標値	R10(2028)年度：700 万人泊		

① 広域観光の推進

【形成協定】
圏域が協働し、国内外に対する観光PRイベントをはじめとした各種プロモーション活動等に取り組む。

事業名	広域観光推進に係るプロモーション活動およびイベント等の実施					関係市町
事業概要	国内外の観光客誘客促進を図るため、各種プロモーション活動およびPRイベントを実施する。 道の駅や観光交流施設を活用し、PRを実施する。					全市町
効果	圏域全体の知名度向上が図られ、交流人口の拡大が期待できる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	127,202	105,942	105,193	105,642	105,193	549,172
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	事業に参加する市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R4(2022)年度	現状値 R6(2024)年度	目標値 R6(2024)年度～ R10(2028)年度		
	プロモーション活動実施回数	国内123回 海外 7回	国内124回 海外 8回	累計(延べ) 国内615回 海外35回		

② 滞在型観光の促進

【形成協定】 圏域内での周遊性を高め、滞在日数の増加を図るための観光メニュー開発等に取り組む。

事業名	滞在型観光メニューの共同開発					関係市町
事業概要	各市町が連携し、それぞれの特色を活かした滞在型観光メニューを開発する。					全市町
効果	具体的な観光メニューを直接旅行会社にアピールすることで商品化を加速することができる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	11,424	10,694	38,772	28,772	28,772	118,434
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	事業に参加する市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R4(2022)年度		現状値 R6(2024)年度		目標値 R10(2028)年度
	観光入込客数に占める 宿泊者数の割合	27.1%		29.2%		基準値より多い

③ 地場産業の育成

【形成協定】 圏域内の地場産業の育成を図るため、販路開拓支援をはじめとした各種事業に取り組む。
--

事業名	販路開拓支援					関係市町
事業概要	国内外の百貨店や食品スーパー等における物産展やフェア等の開催、函館市アンテナショップの運営等の事業をとおり、圏域内の企業の販路開拓を支援する。					全市町
効果	圏域内の企業の販路開拓を支援することにより、地場産業の育成が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	21,559	20,319	20,319	20,319	20,319	102,835
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	中心市は、商談会等の調整および必要な経費を負担し、関係市町は商談会情報の周知を行う。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R4(2022)年度		現状値 R6(2024)年度		目標値 R10(2028)年度
	物産展・フェアの開催回数	10回		22回		10回

事業名	創業支援の推進					関係市町
事業概要	函館市、北斗市および七飯町が相互に連携をとり、(公財)函館地域産業振興財団とともにビジネスプラン作成スクール等の創業支援事業を実施する。					北斗市 七飯町
効果	国や地域の創業支援機関と連携し創業支援を強化することにより、地場産業の育成が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	10,338	15,338	15,338	15,338	15,338	71,690
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	函館市、北斗市および七飯町が経費の一部を負担し、財団と連携して事業を実施する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R4(2022)年度		現状値 R6(2024)年度		目標値 R6(2024)年度～ R10(2028)年度
	創業支援者数	415人		377人		累計2,075人

事業名	先進技術の開発・利用促進および高度技術の普及支援					関係市町
事業概要	(公財) 函館地域産業振興財団が実施する地域企業の技術の高度化に資する先進技術の研究開発および高度技術の普及等に係る事業を支援する。					全市町
効果	関係市町の企業が先進技術および高度技術を活用することにより、地場産業の育成が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	107,401	122,495	122,495	122,495	122,495	597,381
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	函館市が経費の一部を負担し、関係市町は地域企業への利用を促す。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R4(2022)年度		現状値 R6(2024)年度		目標値 R6(2024)年度～ R10(2028)年度
	圏域内企業を対象とした個別相談実績	5 5 3 件		4 5 2 件		累計 2, 7 6 5 件

エ 教育

①文化・スポーツの振興

【形成協定】

圏域内の文化・スポーツを振興するため、文化・スポーツ施設の相互利用をはじめとした各種事業に取り組む。

事業名	文化・スポーツ施設の相互利用の推進					関係市町
事業概要	圏域内の文化・スポーツ施設の相互利用を推進するため、施設の維持・管理等を行うとともに、圏域住民に対して利用案内等の情報を発信する。					全市町
効果	圏域住民の利用拡大が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	3,066,506	3,430,748	3,032,143	3,032,143	3,032,143	15,593,683
補助事業等 の名称等	—					
役割分担 の 考え方	各市町がそれぞれ費用を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R4(2022)年度		現状値 R6(2024)年度		目標値 R10(2028)年度
	利用人員	スポーツ施設 1,338千人 文化施設 574千人		スポーツ施設 1,578千人 文化施設 568千人		基準値より多い

(2) 結びつきやネットワークの強化

ア 地域公共交通

基本目標	バス事業等を支援し、圏域内住民の移動手段の維持・確保を図ります。				
数値目標	乗合バス事業収支率	基準値	R 4(2022)年度：62.3%		
		現状値	R 6(2024)年度：69.38%		
		目標値	R10(2028)年度：75.0%		

① 圏域内における公共交通手段の維持および確保等

【形成協定】 圏域内における公共交通手段を維持・確保しながら利用促進を図るための事業に取り組む。						
---	--	--	--	--	--	--

事業名	第三セクター鉄道への支援					関係市町
事業概要	五稜郭～木古内間における第三セクター鉄道への支援を連携して行う。					北斗市 木古内町
効 果	地域公共交通の維持・確保が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	45,111	51,564	51,564	51,564	51,564	251,367
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R5(2023)年度	現状値 R7(2025)年度	目標値 R10(2028)年度		
	1日の運行本数 (上下計)	34本	34本	34本		

事業名	生活バス路線の維持・確保					関係市町
事業概要	圏域内を結ぶ路線バス等の生活路線の維持・確保を図るため、運行事業者に対する支援等を行う。					全市町
効 果	圏域内における路線バス等の利便性向上により、住民が連携市町の病院・商業施設等や中心市の都市機能を広域的に利用することができ、日常生活に必要な交通手段の維持・確保が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	333,761	375,826	378,644	378,644	378,644	1,845,519
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R4(2022)年度	現状値 R6(2024)年度	目標値 R10(2028)年度		
	路線バスの利用者数の増減率 (A)と人口増減率 (B)の差 (対前年増減率)	(A) (+14.5%) >(B) (-1.63%)	(A) (+4.67%) >(B) (-1.82%)	(A) ≥ (B)		

事業名	J R 函館本線沿線の地域公共交通の維持・確保					関係市町
事業概要	2030年度末に予定されている北海道新幹線の札幌開業に伴い、J R 北海道から経営分離される函館本線沿線の地域公共交通の確保等に向けた取組を行う。					北斗市 七飯町 鹿部町 森 町 八雲町 長万部町
効果	地域公共交通および圏域内相互ネットワークの維持・確保が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	433	493	493	493	493	2,405
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R4(2022)年度 実施した取組		現状値 R6(2024)年度	目標値 R10(2028)年度	
	J R 北海道から経営分離される函館本線沿線の地域公共交通の維持・確保に向けた取組の実施	幹事会：4回 ブロック会議：1回		幹事会：2回	取組が継続されていること	

イ 道路等の交通インフラの整備

基本目標	幹線道路の整備に戦略的に取り組みます。				
数値目標	道路整備期成会要望活動回数	基準値	R 4(2022)年度：4回		
		現状値	R 6(2024)年度：4回		
		目標値	R10(2028)年度：4回		

① 圏域内における交通ネットワークの形成

【形成協定】

圏域内における効率的な交通ネットワーク形成に向け、高規格道路等、交通インフラ整備促進のための各種事業に取り組む。

事業名	道路整備期成会活動の促進					関係市町
事業概要	圏域内における基幹道路等、交通インフラ整備促進のための道路整備期成会活動を促進する。					全市町
効果	道路整備期成会活動の活発化により、圏域内の交通インフラ等の整備促進が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	10,138	12,108	12,108	12,108	12,108	58,570
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	各市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R5(2023)年度	現状値 R7(2025)年度	目標値 R10(2028)年度		
	道路整備期成会の組織数	4期成会	4期成会	4期成会		

ウ 地域内外の住民との交流・移住促進

基本目標	地域の活性化のために多文化共生を促進し、外国人の受入体制の充実を図ります。				
数値目標	外国人住民の人数	基準値	R 5(2023)年:3,097 人		
		現状値	R 7(2025)年:4,434 人		
		目標値	R10(2028)年:R10(2028)年≥R5(2023)年		

① 圏域における国際化の推進

【形成協定】 圏域内の国際化を推進するための各種事業に取り組む。						
-------------------------------------	--	--	--	--	--	--

事業名	国際交流・多文化共生の推進					関係市町
事業概要	地域住民との国際交流事業や、外国人住民が地域社会に溶け込み、より快適な生活を営むことができるよう各種の事業等を実施する。					全市町
効果	外国人住民の支援や受入を活発化することにより、地域住民との交流が図られ、地域の国際化や多文化共生が推進される。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	22,398	21,246	21,246	21,246	21,246	107,382
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	事業に参加する市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R4(2022)年度		現状値 R6(2024)年度		目標値 R10(2028)年度
	外国人住民と市民との交流行事等への参加人数	198人		210人		基準値より多い

事業名	外国人観光客受入体制の整備					関係市町
事業概要	外国人観光客の受入体制充実を図り、交流人口の拡大に努めながら、地域の国際化を推進する。					全市町
効果	外国人観光客受入環境の整備により、交流人口の拡大が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	17,375	17,184	17,180	17,180	17,180	86,099
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	各市町において、事業に必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R4(2022)年度		現状値 R6(2024)年度		目標値 R10(2028)年度
	外国人宿泊客数	9.5万人		61.5万人		基準値より多い

エ その他

① 消費生活相談の広域的対応

【形成協定】

圏域住民の消費生活の安定および向上を図るため、函館市消費生活センターにおいて相談対応等を実施する。

事業名	消費生活相談の広域的対応					関係市町
事業概要	函館市消費生活センターにおいて、函館市および関係市町住民の相談対応やあっせん処理を実施する。					渡島管内市町
効果	相談対応やあっせん処理を実施するとともに、消費者被害の未然防止のための情報提供を行い、圏域住民の消費生活の安定および向上が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	14,372	15,762	14,372	14,372	14,372	73,250
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	渡島管内の市町が経費の一部を負担し、運営の支援を行う。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値 R4(2022)年度		現状値 R6(2024)年度		目標値 R10(2028)年度
	函館市消費生活センターにおけるあっせん解決率	96.0%		91.7%		基準値より多い

(3) 圏域マネジメント能力の強化

ア 人材育成等

基本目標	合同研修等により効率的な人材育成に取り組みます。				
数値目標	合同研修参加自治体数	基準値	R 4(2022)年度：15		
		現状値	R 6(2024)年度：15		
		目標値	R10(2028)年度：18		

① 職員等の合同研修等の実施

【形成協定】 圏域内市町職員等の資質の向上を図るため、合同研修等をはじめとする各種事業に取り組む。						
--	--	--	--	--	--	--

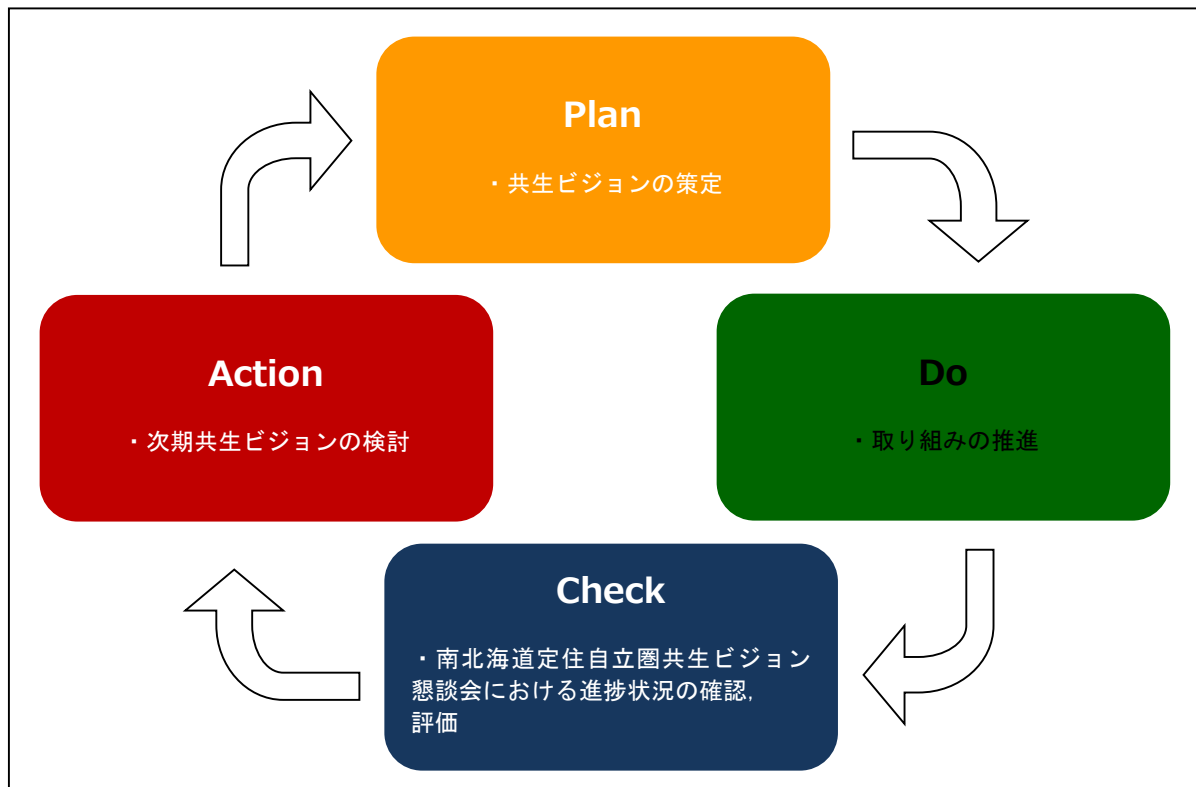
事業名	職員研修に係る情報共有および合同研修の実施					関係市町
事業概要	圏域全体で職員研修に係る情報を共有するとともに、圏域市町職員の資質向上を図るための合同研修を実施する。					全市町
効果	圏域市町職員の資質向上に資する機会の増大が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	1,098	1,744	1,723	1,723	1,723	8,011
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	函館市が研修にかかる情報を発信し、事業に参加する市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値 R4(2022)年度	現状値 R6(2024)年度	目標値 R10(2028)年度	
	合同研修の参加者総数		120人	141人	120人	

事業名	高等教育機関との連携による地域マネジメント能力の向上					関係市町
事業概要	地域の市町の職員や住民等の参加のもと、中心市に所在する高等教育機関との連携による地域課題解決に向けた取り組みを実施することで、職員の地域マネジメント能力の向上を図る。					北斗市 森 町 江差町
効果	圏域市町職員等の視野と知見を広げ、資質向上に資する機会の増大が図られる。					
事業費 (千円)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
	703	1,142	1,142	1,142	1,142	5,271
補助事業等の名称等	—					
役割分担の考え方	事業に参加する市町が必要な経費を負担する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値 R4(2022)年度	現状値 R6(2024)年度	目標値 R10(2028)年度	
	各プログラムにおける地域職員等の平均参加者数		3人	6人	基準値より多い	

8 具体的取組に関する進捗状況の確認と評価

共生ビジョンの具体的取組の推進にあたっては、PDCA サイクル（Plan「計画」→Do「実行」→Check「点検・評価」→Action「改善」）に従い、南北海道定住自立圏共生ビジョン懇談会において、毎年、取り組みの進捗状況の確認を行い、共生ビジョンの期間が満了する際は、重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicator）等の達成状況等を踏まえて、次期の定住自立圏共生ビジョンを策定するものとします。

【南北海道定住自立圏共生ビジョンにおける PDCA サイクルの概念図】



9 共生ビジョン事業一覧

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

ア 医療

(単位：千円)

事業名	夜間急病センターの運営支援					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	47,888	78,031	78,031	78,031	78,031	360,012
北斗市	11,537	16,118	16,118	16,118	16,118	76,009
七飯町	7,335	7,386	7,386	7,386	7,386	36,879
合計	66,760	101,535	101,535	101,535	101,535	472,900

(単位：千円)

事業名	ドクターヘリの運航支援					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	19,749	19,016	19,016	19,016	19,016	95,813
北斗市	2,334	2,913	2,913	2,913	2,913	13,986
松前町	2,643	2,600	2,643	2,643	2,643	13,172
福島町	2,182	2,533	2,533	2,533	2,533	12,314
知内町	2,523	2,533	2,533	2,533	2,533	12,655
木古内町	2,190	2,534	2,534	2,534	2,534	12,326
七飯町	2,697	2,671	2,671	2,671	2,671	13,381
鹿部町	2,544	2,540	2,540	2,540	2,540	12,704
森町	2,719	2,704	2,704	2,704	2,704	13,535
八雲町	2,643	2,643	2,643	2,643	2,643	13,215
長万部町	2,202	2,523	2,523	2,523	2,523	12,294
江差町	2,752	2,688	2,688	2,688	2,688	13,504
上ノ国町	2,555	2,518	2,518	2,518	2,518	12,627
厚沢部町	2,544	2,534	2,534	2,534	2,534	12,680
乙部町	2,533	2,512	2,533	2,533	2,533	12,644
奥尻町	2,588	2,567	2,567	2,567	2,567	12,856
今金町	2,599	2,599	2,599	2,599	2,599	12,995
せたな町	2,643	2,589	2,589	2,589	2,589	12,999
合計	62,640	63,217	63,281	63,281	63,281	315,700

(単位：千円)

事業名	二次救急医療体制の維持・確保					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	40,854	41,198	41,198	41,198	41,198	205,646
北斗市	4,434	4,485	4,485	4,485	4,485	22,374
七飯町	2,878	2,848	2,848	2,848	2,848	14,270
合計	48,166	48,531	48,531	48,531	48,531	242,290

(単位：千円)

事業名	脳疾患救急搬送体制の運営支援					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	—	—	—	—	—	—
江差町	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	31,000
上ノ国町	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000
厚沢部町	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400	22,000
乙部町	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400	22,000
合計	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	100,000

(単位：千円)

事業名	医療情報共有化の推進					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	—	—	—	—	—	—
江差町	2,759	2,798	2,798	2,798	2,798	13,951
上ノ国町	1,656	1,657	1,657	1,657	1,657	8,284
厚沢部町	7,260	7,260	7,260	7,260	7,260	36,300
乙部町	423	423	423	423	423	2,115
奥尻町	462	3,864	3,864	3,864	73,864	85,918
合計	12,560	16,002	16,002	16,002	86,002	146,568

(単位：千円)

事業名	救急救命士病院実習の実施					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	8,242	9,368	6,655	6,655	6,655	37,575
北斗市	206	460	460	460	460	2,046
松前町	393	30	671	671	671	2,436
福島町	38	1,040	1,040	1,040	1,040	4,198
知内町	658	658	658	658	658	3,290
木古内町	237	231	231	231	231	1,161
七飯町	174	392	392	392	392	1,742
鹿部町	302	426	426	426	426	2,006
森町	312	369	369	369	369	1,788
八雲町	246	315	315	315	315	1,506
長万部町	523	967	967	967	967	4,391
江差町	529	1,258	1,258	1,258	1,258	5,561
上ノ国町	880	224	224	224	224	1,776
厚沢部町	360	141	141	141	141	924
乙部町	1,020	2,088	2,054	2,054	2,054	9,270
奥尻町	12	26	36	12	18	104
今金町	235	433	369	369	369	1,775
せたな町	897	968	968	968	968	4,769
合計	15,264	19,394	17,234	17,210	17,216	86,318

(単位：千円)

事業名	理学療法士および作業療法士の養成支援					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	23,500
北斗市	—	—	—	—	—	—
松前町	960	1,080	1,080	1,080	1,080	5,280
福島町	—	—	—	—	—	—
知内町	—	—	—	—	—	—
木古内町	—	—	—	—	—	—
七飯町	—	—	—	—	—	—
鹿部町	—	—	—	—	—	—
森町	—	—	—	—	—	—
八雲町	—	—	—	—	—	—
長万部町	—	—	—	—	—	—
江差町	—	—	—	—	—	—
上ノ国町	—	—	—	—	—	—
厚沢部町	—	—	—	—	—	—
乙部町	—	—	—	—	—	—
奥尻町	—	—	—	—	—	—
今金町	720	720	720	720	720	3,600
せたな町	8,940	8,940	8,940	8,940	8,940	44,700
合計	15,320	15,440	15,440	15,440	15,440	77,080

(単位：千円)

事業名	医療・介護連携の推進					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	28,325	28,553	28,553	28,553	28,553	142,537
北斗市	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	23,500
七飯町	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	23,500
合計	37,725	37,953	37,953	37,953	37,953	189,537

イ 福祉

(単位：千円)

事業名	障害者地域生活支援事業の推進					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	94,911	100,544	100,544	100,544	100,544	497,087
北斗市	10,979	11,833	11,833	11,833	11,833	58,311
七飯町	7,320	7,983	7,983	7,983	7,983	39,252
合計	113,210	120,360	120,360	120,360	120,360	594,650

ウ 産業振興

(単位：千円)

事業名	広域観光推進に係るプロモーション活動およびイベント等の実施					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	83,047	58,827	58,527	58,527	58,527	317,455
北斗市	13,829	15,269	15,269	15,269	15,269	74,905
松前町	4,758	4,594	4,145	4,594	4,145	22,236
福島町	200	200	200	200	200	1,000
知内町	141	141	141	141	141	705
木古内町	1,617	1,617	1,617	1,617	1,617	8,085
七飯町	—	—	—	—	—	—
鹿部町	1,582	1,582	1,582	1,582	1,582	7,910
森町	1,470	1,470	1,470	1,470	1,470	7,350
八雲町	1,476	1,476	1,476	1,476	1,476	7,380
長万部町	—	232	232	232	232	928
江差町	6,432	8,028	8,028	8,028	8,028	38,544
上ノ国町	1,176	1,424	1,424	1,424	1,424	6,872
厚沢部町	2,572	2,210	2,210	2,210	2,210	11,412
乙部町	4,797	4,716	4,716	4,716	4,716	23,661
奥尻町	158	158	158	158	158	790
今金町	3,621	3,693	3,693	3,693	3,693	18,393
せたな町	326	305	305	305	305	1,546
合計	127,202	105,942	105,193	105,642	105,193	549,172

(単位：千円)

事業名	滞在型観光メニューの共同開発					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	2,251	1,922	30,000	20,000	20,000	74,173
北斗市	3,462	2,260	2,260	2,260	2,260	12,502
松前町	—	—	—	—	—	—
福島町	—	—	—	—	—	—
知内町	59	59	59	59	59	295
木古内町	1,230	1,230	1,230	1,230	1,230	6,150
七飯町	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	8,250
鹿部町	—	—	—	—	—	—
森町	—	—	—	—	—	—
八雲町	—	—	—	—	—	—
長万部町	—	—	—	—	—	—
江差町	—	—	—	—	—	—
上ノ国町	429	760	760	760	760	3,469
厚沢部町	2,059	2,520	2,520	2,520	2,520	12,139
乙部町	42	51	51	51	51	246
奥尻町	242	242	242	242	242	1,210
今金町	—	—	—	—	—	—
せたな町	—	—	—	—	—	—
合計	11,424	10,694	38,772	28,772	28,772	118,434

(単位：千円)

事業名	販路開拓支援					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	20,600	19,249	19,249	19,249	19,249	97,596
北斗市	—	—	—	—	—	—
松前町	—	—	—	—	—	—
福島町	—	—	—	—	—	—
知内町	—	—	—	—	—	—
木古内町	—	—	—	—	—	—
七飯町	—	—	—	—	—	—
鹿部町	—	—	—	—	—	—
森町	—	—	—	—	—	—
八雲町	—	—	—	—	—	—
長万部町	—	—	—	—	—	—
江差町	—	—	—	—	—	—
上ノ国町	—	—	—	—	—	—
厚沢部町	—	—	—	—	—	—
乙部町	959	1,070	1,070	1,070	1,070	5,239
奥尻町	—	—	—	—	—	—
今金町	—	—	—	—	—	—
せたな町	—	—	—	—	—	—
合計	21,559	20,319	20,319	20,319	20,319	102,835

(単位：千円)

事業名	創業支援の推進					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	7,000	12,000	12,000	12,000	12,000	55,000
北斗市	2,103	2,103	2,103	2,103	2,103	10,515
七飯町	1,235	1,235	1,235	1,235	1,235	6,175
合計	10,338	15,338	15,338	15,338	15,338	71,690

(単位：千円)

事業名	先進技術の開発・利用促進および高度技術の普及支援					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	107,401	122,495	122,495	122,495	122,495	597,381
北斗市	—	—	—	—	—	—
松前町	—	—	—	—	—	—
福島町	—	—	—	—	—	—
知内町	—	—	—	—	—	—
木古内町	—	—	—	—	—	—
七飯町	—	—	—	—	—	—
鹿部町	—	—	—	—	—	—
森町	—	—	—	—	—	—
八雲町	—	—	—	—	—	—
長万部町	—	—	—	—	—	—
江差町	—	—	—	—	—	—
上ノ国町	—	—	—	—	—	—
厚沢部町	—	—	—	—	—	—
乙部町	—	—	—	—	—	—
奥尻町	—	—	—	—	—	—
今金町	—	—	—	—	—	—
せたな町	—	—	—	—	—	—
合計	107,401	122,495	122,495	122,495	122,495	597,381

エ 教育

(単位：千円)

事業名	文化・スポーツ施設の相互利用の推進					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	1,014,294	1,121,604	1,121,604	1,121,604	1,121,604	5,500,710
北斗市	884,793	882,969	882,969	882,969	882,969	4,416,669
松前町	29,492	31,090	31,090	31,090	31,090	153,852
福島町	38,072	39,655	39,655	39,655	39,655	196,692
知内町	98,113	443,096	82,096	82,096	82,096	787,497
木古内町	39,902	58,207	26,443	26,443	26,443	177,438
七飯町	181,202	141,211	141,211	141,211	141,211	746,046
鹿部町	146,760	96,001	96,001	96,001	96,001	530,764
森町	69,787	85,107	85,107	85,107	85,107	410,215
八雲町	140,311	147,662	141,821	141,821	141,821	713,436
長万部町	47,823	26,875	26,875	26,875	26,875	155,323
江差町	70,079	73,035	73,035	73,035	73,035	362,219
上ノ国町	109,462	105,963	105,963	105,963	105,963	533,314
厚沢部町	38,131	26,035	26,035	26,035	26,035	142,271
乙部町	32,580	28,550	28,550	28,550	28,550	146,780
奥尻町	28,442	28,442	28,442	28,442	28,442	142,210
今金町	26,031	27,886	27,886	27,886	27,886	137,575
せたな町	71,232	67,360	67,360	67,360	67,360	340,672
合計	3,066,506	3,430,748	3,032,143	3,032,143	3,032,143	15,593,683

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

ア 地域公共交通

(単位：千円)

事業名	第三セクター鉄道への支援					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	9,197	10,991	10,991	10,991	10,991	53,161
北斗市	26,718	30,581	30,581	30,581	30,581	149,042
木古内町	9,196	9,992	9,992	9,992	9,992	49,164
合計	45,111	51,564	51,564	51,564	51,564	251,367

(単位：千円)

事業名	生活バス路線の維持・確保					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	59,333	78,505	78,505	78,505	78,505	373,353
北斗市	2,983	4,920	4,920	4,920	4,920	22,663
松前町	29,731	29,144	31,962	31,962	31,962	154,761
福島町	2,414	3,100	3,100	3,100	3,100	14,814
知内町	27,280	24,297	24,297	24,297	24,297	124,468
木古内町	—	—	—	—	—	—
七飯町	4,595	11,189	11,189	11,189	11,189	49,351
鹿部町	24,710	27,337	27,337	27,337	27,337	134,058
森町	10,264	8,760	8,760	8,760	8,760	45,304
八雲町	8,751	8,751	8,751	8,751	8,751	43,755
長万部町	10,077	20,525	20,525	20,525	20,525	92,177
江差町	15,087	18,000	18,000	18,000	18,000	87,087
上ノ国町	28,285	28,000	28,000	28,000	28,000	140,285
厚沢部町	22,075	27,400	27,400	27,400	27,400	131,675
乙部町	16,839	11,119	11,119	11,119	11,119	61,315
奥尻町	—	—	—	—	—	—
今金町	26,935	30,377	30,377	30,377	30,377	148,443
せたな町	44,402	44,402	44,402	44,402	44,402	222,010
合計	333,761	375,826	378,644	378,644	378,644	1,845,519

(単位：千円)

事業名	J R 函館本線沿線の地域公共交通の維持・確保					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	—	—	—	—	—	—
北斗市	—	—	—	—	—	—
七飯町	433	493	493	493	493	2,405
鹿部町	—	—	—	—	—	—
森町	—	—	—	—	—	—
八雲町	—	—	—	—	—	—
長万部町	—	—	—	—	—	—
合計	433	493	493	493	493	2,405

イ 道路等の交通インフラの整備

(単位：千円)

事業名	道路整備期成会活動の促進					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	4,121	5,080	5,080	5,080	5,080	24,441
北斗市	772	920	920	920	920	4,452
松前町	316	317	317	317	317	1,584
福島町	261	324	324	324	324	1,557
知内町	269	337	337	337	337	1,617
木古内町	342	277	277	277	277	1,450
七飯町	488	652	652	652	652	3,096
鹿部町	218	283	283	283	283	1,350
森町	404	479	479	479	479	2,320
八雲町	484	572	572	572	572	2,772
長万部町	294	373	373	373	373	1,786
江差町	119	123	123	123	123	611
上ノ国町	1,814	2,131	2,131	2,131	2,131	10,338
厚沢部町	58	62	62	62	62	306
乙部町	45	45	45	45	45	225
奥尻町	24	24	24	24	24	120
今金町	49	49	49	49	49	245
せたな町	60	60	60	60	60	300
合計	10,138	12,108	12,108	12,108	12,108	58,570

ウ 地域内外の住民との交流・移住促進

(単位：千円)

市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函 館 市	12,544	10,865	10,865	10,865	10,865	56,004
北 斗 市	108	111	111	111	111	552
松 前 町	41	200	200	200	200	841
福 島 町	—	—	—	—	—	—
知 内 町	—	—	—	—	—	—
木古内町	—	—	—	—	—	—
七 飯 町	9,705	9,705	9,705	9,705	9,705	48,525
鹿 部 町	—	—	—	—	—	—
森 町	—	—	—	—	—	—
八 雲 町	—	—	—	—	—	—
長万部町	0	20	20	20	20	80
江 差 町	—	—	—	—	—	—
上ノ国町	—	—	—	—	—	—
厚沢部町	—	—	—	—	—	—
乙 部 町	0	45	45	45	45	180
奥 尻 町	—	—	—	—	—	—
今 金 町	0	300	300	300	300	1,200
せたな町	—	—	—	—	—	—
合 計	22,398	21,246	21,246	21,246	21,246	107,382

(単位：千円)

事業名	外国人観光客受入体制の整備					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	13,868	13,868	13,868	13,868	13,868	69,340
北斗市	83	0	0	0	0	83
松前町	966	973	969	969	969	4,846
福島町	46	0	0	0	0	46
知内町	—	—	—	—	—	—
木古内町	—	—	—	—	—	—
七飯町	2,049	1,914	1,914	1,914	1,914	9,705
鹿部町	363	429	429	429	429	2,079
森町	—	—	—	—	—	—
八雲町	—	—	—	—	—	—
長万部町	—	—	—	—	—	—
江差町	—	—	—	—	—	—
上ノ国町	—	—	—	—	—	—
厚沢部町	0	0	0	0	0	0
乙部町	—	—	—	—	—	—
奥尻町	—	—	—	—	—	—
今金町	0	0	0	0	0	0
せたな町	—	—	—	—	—	—
合計	17,375	17,184	17,180	17,180	17,180	86,099

エ その他

(単位：千円)

事業名	消費生活相談の広域的対応					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	12,024	13,159	12,024	12,024	12,024	61,255
北斗市	811	797	811	811	811	4,041
松前町	93	116	93	93	93	488
福島町	45	64	45	45	45	244
知内町	67	63	67	67	67	331
木古内町	56	56	56	56	56	280
七飯町	609	730	609	609	609	3,166
鹿部町	78	76	78	78	78	388
森町	244	326	244	244	244	1,302
八雲町	275	275	275	275	275	1,375
長万部町	70	100	70	70	70	380
合計	14,372	15,762	14,372	14,372	14,372	73,250

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

ア 人材育成等

(単位：千円)

事業名	職員研修に係る情報共有および合同研修の実施					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	580	890	890	890	890	4,140
北斗市	16	39	39	39	39	172
松前町	80	108	87	87	87	449
福島町	10	20	20	20	20	90
知内町	38	38	38	38	38	190
木古内町	—	—	—	—	—	—
七飯町	53	70	70	70	70	333
鹿部町	22	22	22	22	22	110
森町	21	30	30	30	30	141
八雲町	0	0	0	0	0	—
長万部町	29	26	26	26	26	133
江差町	20	30	30	30	30	140
上ノ国町	71	256	256	256	256	1,095
厚沢部町	36	45	45	45	45	216
乙部町	90	91	91	91	91	454
奥尻町	18	24	24	24	24	114
今金町	0	30	30	30	30	120
せたな町	14	25	25	25	25	114
合計	1,098	1,744	1,723	1,723	1,723	8,011

(単位：千円)

事業名	高等教育機関との連携によるマネジメント能力の向上					
市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函館市	—	—	—	—	—	—
北斗市	19	100	100	100	100	419
森町	544	710	710	710	710	3,384
江差町	140	332	332	332	332	332
合計	703	1,142	1,142	1,142	1,142	5,271

市町別総事業費

(単位：千円)

市町名\事業年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
函 館 市	1,590,929	1,750,865	1,774,795	1,764,795	1,764,795	8,646,179
北 斗 市	969,887	980,578	980,592	980,592	980,592	4,892,241
松 前 町	69,473	70,252	73,257	73,706	73,257	359,945
福 島 町	43,268	46,936	46,917	46,917	46,917	230,955
知 内 町	129,148	471,222	110,226	110,226	110,226	931,048
木古内町	54,770	74,144	42,380	42,380	42,380	256,054
七 飯 町	227,123	194,829	194,708	194,708	194,708	1,006,076
鹿 部 町	176,579	128,696	128,698	128,698	128,698	691,369
森 町	85,765	99,955	99,873	99,873	99,873	485,339
八 雲 町	154,186	161,694	155,853	155,853	155,853	783,439
長万部町	61,018	51,641	51,611	51,611	51,611	267,492
江 差 町	104,117	112,492	112,492	112,492	112,492	554,085
上ノ国町	151,328	147,933	147,933	147,933	147,933	743,060
厚沢部町	79,495	72,607	72,607	72,607	72,607	369,923
乙 部 町	63,728	55,110	55,097	55,097	55,097	284,129
奥 尻 町	31,946	35,347	35,357	35,333	105,339	243,322
今 金 町	60,190	66,087	66,023	66,023	66,023	324,346
せたな町	128,514	124,649	124,649	124,649	124,649	627,110
合 計	4,181,464	4,645,037	4,273,068	4,263,493	4,333,050	21,696,112

南北海道定住自立圏共生ビジョン懇談会 委員名簿

(敬称略)

関連分野	氏 名	所 属 ・ 職 名	市町名
学識経験者	古 地 順一郎	国立大学法人 北海道教育大学函館校 准教授	函館市
医 療	永 澤 潤一郎	公益社団法人 函館市医師会 事務局長	函館市
産業振興	山 田 義 則	一般社団法人 函館物産協会 事務局長	函館市
地 域 公共交通	渡 部 浩 典	函館地区バス協会 事務局長	函館市
交流移住	孔 麗	国立大学法人 北海道教育大学函館校 教授	函館市
環 境	関 口 冬 樹	東急不動産 株式会社 松前事務所所長	松前町
地産地消	平 野 松 寿	一般社団法人 福島町まちづくり工房 代表理事	福島町
産業振興	鎌 田 健 治	鹿部商工会 事務局長	鹿部町
産業振興	対 馬 光 弘	森町さわら商工会・森観光協会 副会長	森町
産業振興	尾 山 徹	檜山建設協会 事務局長	江差町
産業振興	八十科 剛	株式会社ワカサ商事 代表取締役	上ノ国町

(令和7年(2025年)9月17日現在)

第3次北海道定住自立圏共生ビジョン

令和 7年10月30日変更
北海道定住自立圏共生ビジョン懇談会
(事務局：函館市企画部国際・地域交流課)